

# Teeth Keeper NEO

移植・再植歯の歯根膜組織を保護する保存液



## ティースキーパー「ネオ」

### 歯の保存液

移植・再植用 **歯科医院向**

滅菌済 40mL×2本入

<組 成> 塩化カリウム・塩化マグネシウム・硫酸マグネシウム・塩化カルシウム その他

移植及び再植の予後を左右する因子には、歯根に残存する歯根膜組織の量、保存状態、保存時間、抜歯窩の処置、固定方法、根管処置の有無などがあります。

特に、歯根膜の損傷を可及的に少なくすることが、良好な予後を得るために最も重要な因子となります。

ティースキーパー「ネオ」は、移植・再植歯の歯根に残存する歯根膜組織を保護するために開発された保存液で、歯根膜の乾燥を防ぎ、浸透圧とpHの安定化により歯根膜を構成する細胞の活性を維持します。

#### 使用方法

- 歯根膜の損傷範囲を確認後、本品に浸漬保存する。
- 拔歯窓または移植床の処置後、歯を保存液から取り出し、移植・再植する。
- 根管等の処置が必要な移植・再植歯は、本品を含ませた滅菌ガーゼ等で保持して行う。

#### 使用上の注意

- 本品に歯を浸漬保存する場合は、低温(約4°C)で保存し、移植・再植は24時間以内に行うこと。
- 移植・再植が可能と診断された症例にのみ使用すること。
- 使用に際しては説明書をよくお読みください。



NEO DENTAL CHEMICAL  
PRODUCTS CO., LTD.

# Teeth Keeper NEO

ティースキーパー「ネオ」

歯の保存液 歯科医院向

## ティースキーパー「ネオ」の効果

歯の保存液 ティースキーパー「ネオ」は、抜歯・脱落歯の口腔外での保存時間の延長を目的として開発されました。特に歯の移植・再植に重要な意義を持つとされる歯根膜組織の保護については、ヒト歯根膜組織ならびに成猿歯の再植実験を通じて、24時間の保存効果が確認されています。

(資料提供: 東京歯科大学歯内療法学講座)

### ヒト歯根膜組織の保存 (24時間例)

ヒト新鮮抜去歯をティースキーパー「ネオ」中に4°Cで24時間浸漬保存後、歯根膜組織を含む標本を調製、透過型電子顕微鏡にて観察した。

同様な条件下に実施した滅菌等張食塩液(生理食塩液)中に保存の歯根膜細胞は、小器官及び細胞自体の破壊性変化が顕著であった。

これに対し、本液中に浸漬保存した場合には、細胞形態、小器官のいずれにおいても、変化が少なく優れた保存性を示していた。

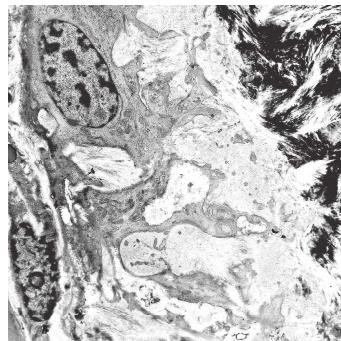


図1 保存液中に24時間浸漬後のヒト歯根膜細胞  
細胞形態及び小器官が良好に保存されている

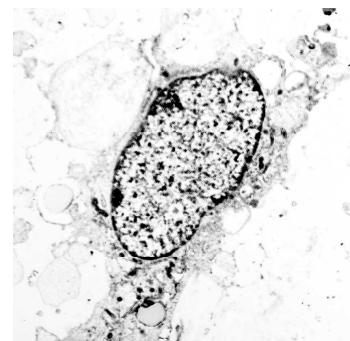


図2 生理食塩液中に24時間浸漬後のヒト歯根膜細胞  
膜構造及び小器官の破壊が顕著である

### 成猿歯の再植実験

(抜歯後24時間保存再植例)

成猿歯を抜去し、直ちにティースキーパー「ネオ」、ならびに生理食塩液中に浸漬保存した。

24時間後、それぞれの歯を抜歯窩に再植立し、8週間経過後の周囲組織を病理組織学的に観察した。

ティースキーパー「ネオ」浸漬例では、歯根膜組織の再生が認められ、生理食塩液と比較して歯根周囲の修復機転が進捗していた。

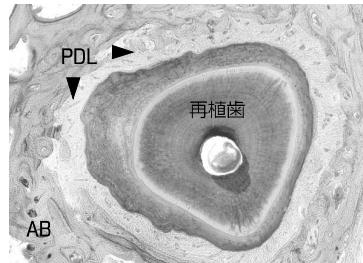


図1-1 保存液中に24時間浸漬後、再植した場合  
の病理組織像

歯根膜空隙はやや拡大しているが、歯槽骨と歯とを連絡する歯根膜の再生が認められる

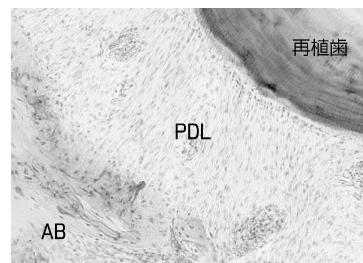


図1-2 図1-1の拡大像

同部の拡大像、歯根膜の機能的な配列が示されている

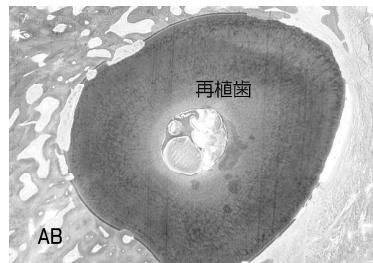


図2-1 生理食塩液中に24時間浸漬後、再植した  
場合の病理組織像

歯槽骨と歯とが細い骨梁によって連絡され、骨性  
癒着の状態を示している

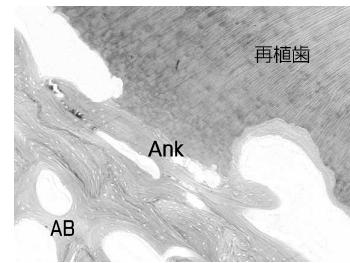


図2-2 図2-1の拡大像

歯根膜空隙における線維の配列は不規則である

PDL: 歯根膜  
AB: 歯槽骨  
Ank: 骨性癒着

■ ネオ製薬ホームページ 最新の製品情報を掲載 <https://www.neo-dental.com/> ■



ネオ製薬工業株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号  
Tel.(03)3400-3768(代) Fax.(03)3499-0613

お問い合わせ ☎ 0120-07-3768

販売店名